

区分・種別	県指定史跡		
名称	かぎや 鍵谷カナの墓		
所在地	松山市西垣生町		
所有者	長楽寺	管理団体	松山市
指定年月日	昭和28年2月13日		
解説	<p>かぎや 鍵谷カナは、いよがすり 伊予絣の考案者である。その墓はちようらくじ 長楽寺にあり、墓碑には夫の戒名とともに、カナの戒名「慈光妙照信女」が刻されている。</p> <p>カナは天明2（1782）年、伊予郡垣生村今出（松山市西垣生町）に生まれた。長じて同村小野山藤八に嫁し、当時農家の副業であった伊予結城（伊予縞）という縞木綿の生産に従事していた。</p> <p>カナは創意に富む女性であったようで、享和年間（1801～1804年）に新しい絣模様を織る方法を発案した。わら屋根に使った古竹にできた綿目の跡にヒントを得たとか、その他諸説がある。はじめ青草の汁で糸を染め地機<small>じばた</small>で織ったが、のち藍染<small>あいぞめ</small>を採用し、菊屋新助考案による高機<small>たかはた</small>を利用して、絣を織り出すのに成功した。この絣は伊予絣の名で全国に知られるようになった。</p> <p>カナは元治元（1864）年、83歳で没した。</p>		

